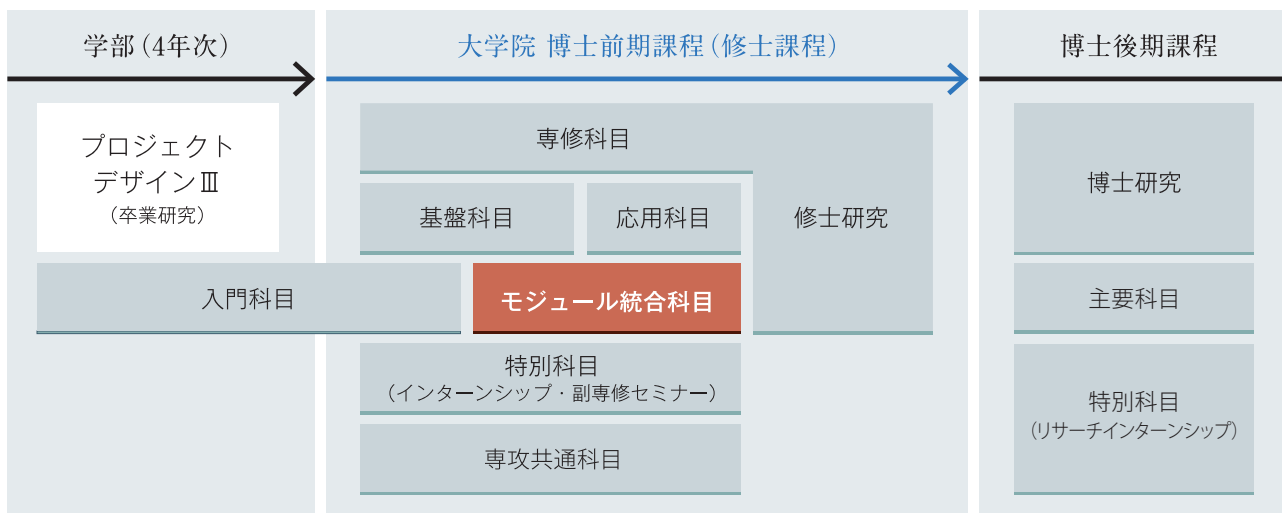


高度専門領域を体系的に探究できる

コースワーク

対象：工学研究科

コースワークを導入したカリキュラム



各専攻のカリキュラムフローは以下の CURRICULUM GUIDE BOOK をご覧ください。
http://www.kanazawa-it.ac.jp/curriculum_html/doctor.html

モジュール統合科目の実施

モジュール統合科目は従来の大学院教育では行われてこなかったアクション・ラーニングです。学部で身につけた総合力のさらなる醸成を図ります。講義・演習・実験・発表が統合された授業と、分野の異なる複数の教員や産業界の技術者により構成される統合型チームコーチングにより、①知識を取り込む力 ②思考・推論・創造する力 ③コラボレーションとリーダーシップを発揮する力 ④発表・表現・伝達する力をスパイラル状に高めます。そして、専門知識を知恵（応用力）に転換し、高度な問題発見・解決能力を身につけます。

プロフェッショナルとしての倫理と行動設計

科学技術の専門職として必要な価値（公衆の安全や健康、福利など）を具体的な事例を通して学びます。また、科学技術が地球環境や人間社会に与える影響について学び、プロフェッショナルとしての倫理観の育成と行動設計を図ります。

副専修セミナーの実施

大学院での専門研究は、これまで一つの研究室のもとで行うのが一般的でした。しかし、研究を進める上で、自らの研究テーマとは異なる分野の知識や技術、考え方が必要になることがあります。副専修セミナーとは、受講学生の所属する専修科目担当教員以外の大学院担当教員の下で、一定期間（2単位相当分）研究活動を行うものです。狭い領域にとどまらず、広い視野の下に既存の科学技術あるいは研究領域の融合、新しい領域の開拓に対処できる能力の獲得を目指します。

インターンシップA・Bの実施

技術者としての視野を広げるために、産学共同教育によるインターンシップを実施しています。「インターンシップA」では、企業のさまざまな活動と技術者の役割について理解を深めます。そして「インターンシップB」で就業体験を行い、研究活動における現場の感覚を身につけます。

ビジネス系科目の履修

企業においては、ビジネス感覚を身につけた技術者が求められています。ビジネスプランの策定や経営戦略、社会的責任（CSR）、プロジェクトマネジメント、リスクマネジメントなどの手法を学びます。

CLOSE UP

大学4年次から大学院科目の履修が可能

学部4年次のプロジェクトデザインⅢ（卒業研究）履修者は、所定の手続きを行えば大学院工学研究科博士前期課程（修士課程）の授業科目を12単位まで履修することができます。履修した科目は学部卒業に必要な単位には含まれませんが、大学院進学後は大学院授業科目の単位として修得した単位の一部または全部について単位認定が行われます。さらに学部4年次の1年間と大学院の2年間を含む3年間の一貫した研究活動も可能です。

講義・演習・実験・発表が統合された科目で総合力の醸成を図る

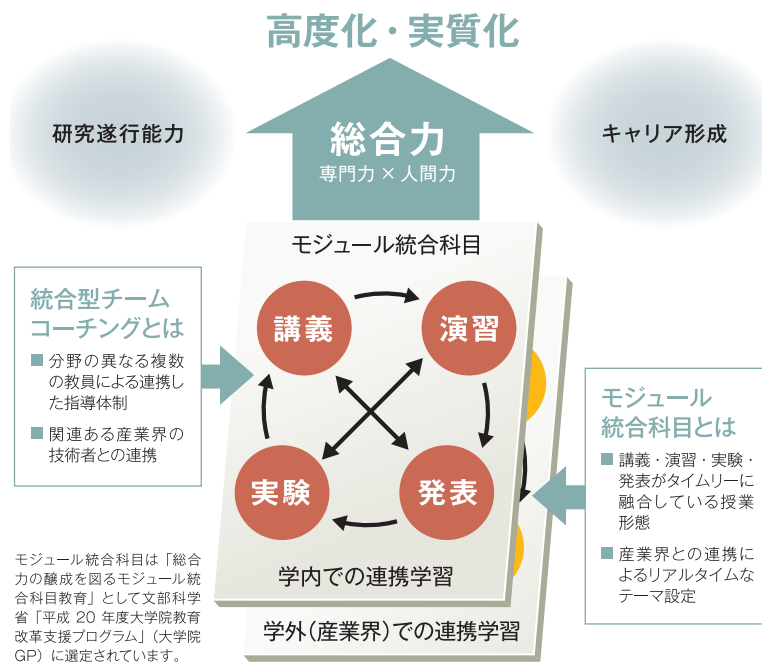
モジュール統合科目

対象：工学研究科

■ 学外と連動した 統合型チームコーチング

モジュール統合科目は、産業界などの外部と連携し、講義・演習・実験を一つの科目の中で行うプロジェクト型教育です。実際に社会で起きているリアルタイムな問題をテーマに、その分野の専門家を講師として招いて講義を実施。研究所や外部企業での演習・実験を通して問題点を理解し、解決策を提案します。

専門分野の異なる複数教員とテーマに関連する産業界の技術者で構成するチームの指導を受けながら、プロジェクト活動を行うことで、急速に進んでいる技術の高度化に対応できる、研究者・技術者としての総合力の醸成を図っていきます。



学外と連携した統合型チームコーチングによる モジュール統合科目

各科目の詳細な内容はシラバスでご確認ください。
http://www.kanazawa-it.ac.jp/syllabus_d/index.html

CLOSE UP

建築計画設計統合特論

(建築学専攻博士前期課程)

第一線で活躍する建築士から指導・講評の機会

外部依頼主(地方自治体など)の要請による具体的な建築プロジェクトの業務に携わることで、ソフトの領域を総合的に考察し施設プログラムを組み立てる方法論を身につけ、具体的な環境計画・建築意匠・空間構成・建築技術へと発展可能なプロポーザル案をまとめます。

建築に関わる様々な知識・技術を応用しながら、具体的な設計作品にまとめ、その成果を発表し、建築設計の第一線で活躍する建築士から指導・講評を受けます。また、建築実務に関わる講義を通して、法規・工事費・施工技術・工事監理等について学びます。



金沢市から地区公民館の再生を考えるテーマが与えられ、金沢市役所等で提案内容を公開